

鹿児島工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)		授業科目	ドイツ語Ⅱ B	
科目基礎情報							
科目番号	0119		科目区分		一般 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数		学修単位: 1		
開設学科	機械工学科		対象学年		5		
開設期	後期		週時間数		後期:2		
教科書/教材	『Klasse』（谷澤優子他著）白水社、『やさしい！ドイツ語の学習辞典』同学生社						
担当教員	保坂 直之						
到達目標							
A2-1（CEFR＝ヨーロッパ言語共通参照枠）							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	ごく基本的な個人情報や家族情報に関しては、文章やよく使われる表現が理解できる。		ごく基本的な個人情報や家族情報に関しては、文章やよく使われる表現がある程度は理解できる。		ごく基本的な個人情報や家族情報に関しては、文章やよく使われる表現が理解できない。		
評価項目2	買い物、地元の地理、仕事など、直接的関係がある領域に関しては、文章やよく使われる表現が理解できる。		買い物、地元の地理、仕事など、直接的関係がある領域に関しては、文章やよく使われる表現がある程度は理解できる。		買い物、地元の地理、仕事など、直接的関係がある領域に関しては、文章やよく使われる表現が理解できない。		
評価項目3	簡単に日常的な範囲なら、身近で日常の事柄について、単純で直接的な情報交換に応じることができる。		簡単に日常的な範囲なら、身近で日常の事柄について、単純で直接的な情報交換にある程度は応じることができる。		簡単に日常的な範囲なら、身近で日常の事柄についてでも、単純で直接的な情報交換に応じることができない。		
学科の到達目標項目との関係							
教育プログラムの学習・教育到達目標 2-3 教育プログラムの学習・教育到達目標 4-3 本科（準学士課程）の学習・教育到達目標 4-b 教育プログラムの科目分類 (1)② JABEE（2012）基準 1(2)(a) JABEE（2012）基準 1(2)(f)							
教育方法等							
概要	学習者が語り合いながら、共同作業しながら、日常的コミュニケーションが可能な程度のご学力を養う。また、欧州の文化やものの見方に触れて、さまざまな異文化と共存できる深い視野を身につける。（CEFR A2-1）						
授業の進め方・方法	4年次に学習した初級ドイツ語の入門的知識は必要。聞き取りや発話の演習によるコミュニケーションのための授業だが、体系文法学習も一部取り入れる。 試験はTyp1（会話テスト）、Typ2（文構造理解・語彙などの総合テスト）、Typ3（読解テスト）の3つを組み合わせる。 （感染防止措置で試験方法を変更した場合、三つのテストの評価割合を変更することがあります）						
注意点	授業ではペアワーク、グループワークなどの活動の時間が多い。外国語習得のためには授業の後、テキストの音読や課題学習などを含む復習で60分程度の自学自習が必要である。「書き言葉」での試験以外に「声」を使って人と語り合う試験があるので、声を出す練習は教室・自宅でも十分にしてほしい。自学自習60分／1Wが必要である。会話練習では他者の気持ちを掴んで語り合う練習を特に重視する。（＊B5ノートが必要です・提出用・ルーズリーフ不可）						
授業の属性・履修上の区分							
☒ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	1) Dialog(Sprechen, Hören) 2) Grammatik (前置詞の格支配) 3) Textarbeit(Lesen, Schreiben)		・ 4格支配の前置詞を使うことができる。 ・ 3/4格支配の前置詞を使うことができる。 ・ 位置関係を口に出して自由に言うことができる。		
		2週	1) Dialog(Sprechen, Hören) 2) Grammatik (前置詞の格支配) 3) Textarbeit(Lesen, Schreiben)		・ 4格支配の前置詞を使うことができる。 ・ 3/4格支配の前置詞を使うことができる。 ・ 位置関係を口に出して自由に言うことができる。		
		3週	1) Dialog(Sprechen, Hören) 2) Grammatik (前置詞の格支配) 3) Textarbeit(Lesen, Schreiben)		・ 4格支配の前置詞を使うことができる。 ・ 3/4格支配の前置詞を使うことができる。 ・ 位置関係を口に出して自由に言うことができる。		
		4週	1) Dialog(Sprechen, Hören) 2) Grammatik (前置詞の格支配) 3) Textarbeit(Lesen, Schreiben)		・ 4格支配の前置詞を使うことができる。 ・ 3/4格支配の前置詞を使うことができる。 ・ 位置関係を口に出して自由に言うことができる。		
		5週	1) Dialog(Sprechen, Hören) 2) Grammatik (前置詞の格支配) 3) Textarbeit(Lesen, Schreiben)		・ 4格支配の前置詞を使うことができる。 ・ 3/4格支配の前置詞を使うことができる。 ・ 位置関係を口に出して自由に言うことができる。		
		6週	1) Dialog(Sprechen, Hören) 2) Grammatik (前置詞の格支配) 3) Textarbeit(Lesen, Schreiben)		・ 4格支配の前置詞を使うことができる。 ・ 3/4格支配の前置詞を使うことができる。 ・ 位置関係を口に出して自由に言うことができる。		
		7週	1) Dialog(Sprechen, Hören) 2) Grammatik (前置詞の格支配) 3) Textarbeit(Lesen, Schreiben)		・ 4格支配の前置詞を使うことができる。 ・ 3/4格支配の前置詞を使うことができる。 ・ 位置関係を口に出して自由に言うことができる。		
		8週	1) Dialog(Sprechen, Hören) 2) Grammatik (話法の助動詞、zu不定詞) 3) Textarbeit(Lesen, Schreiben)		・ 話法の助動詞を正しく使うことができる。 ・ zu不定詞を正しく使うことができる。 ・ 休暇の話題を口に出して語ることができる。		
	4thQ	9週	1) Dialog(Sprechen, Hören) 2) Grammatik (話法の助動詞、zu不定詞) 3) Textarbeit(Lesen, Schreiben)		・ 話法の助動詞を正しく使うことができる。 ・ zu不定詞を正しく使うことができる。 ・ 休暇の話題を口に出して語ることができる。		
		10週	1) Dialog(Sprechen, Hören) 2) Grammatik (話法の助動詞、zu不定詞) 3) Textarbeit(Lesen, Schreiben)		・ 話法の助動詞を正しく使うことができる。 ・ zu不定詞を正しく使うことができる。 ・ 休暇の話題を口に出して語ることができる。		

		11週	1) Dialog(Sprechen, Hören) 2) Grammatik (話法の助動詞、zu不定詞) 3) Textarbeit(Lesen, Schreiben)	・ 話法の助動詞を正しく使うことができる。 ・ zu不定詞を正しく使うことができる。 ・ 休暇の話題を口に出して語ることができる。
		12週	1) Dialog(Sprechen, Hören) 2) Grammatik (話法の助動詞、zu不定詞) 3) Textarbeit(Lesen, Schreiben)	・ 話法の助動詞を正しく使うことができる。 ・ zu不定詞を正しく使うことができる。 ・ 休暇の話題を口に出して語ることができる。
		13週	1) Dialog(Sprechen, Hören) 2) Grammatik (話法の助動詞、zu不定詞) 3) Textarbeit(Lesen, Schreiben)	・ 話法の助動詞を正しく使うことができる。 ・ zu不定詞を正しく使うことができる。 ・ 休暇の話題を口に出して語ることができる。
		14週	1) Dialog(Sprechen, Hören) 2) Grammatik (話法の助動詞、zu不定詞) 3) Textarbeit(Lesen, Schreiben)	・ 話法の助動詞を正しく使うことができる。 ・ zu不定詞を正しく使うことができる。 ・ 休暇の話題を口に出して語ることができる。
		15週	後期末試験・答案返却	後期14週までの項目について達成度を確認する。
		16週		

評価割合

	会話テスト (Typ1)	総合テスト (Typ2)	読解テスト (Typ3)	態度・課題(-10)	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	26	60	14	0	0	0	100
基礎的能力	13	30	7	0	0	0	50
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	13	30	7	0	0	0	50